

真実と報道の距離

真実と報道の距離

20年近く前、大学の一室で私の固定観念は一つ崩された。

税法の講義だった。

その初日、あるプリントが全員に配られた。

教授はそのプリントを読んで感想を書けと言う。

内容は新聞記事のコピーで、小学6年生数人が、ある犯罪を起こし警察に補導されたという事件報道だった。

犯罪の詳しい内容は覚えていないが、小学生という事もあり、私も、おそらく講義を受けていた二十歳前後の学生の多くも、かなり衝撃を受けたと思う。

感想は、「犯罪の低年齢化を嘆く」「子供と親との関係」「学校教育について」「犯罪を助長する社会」というようなものが多く寄せられたと思われる私もそんな内容を記入して提出した。

すると、教授はもう一枚プリントを配るので、また

グリッティ氏

会社員
37才 子供なし
ブログアドレス

<http://andregritti.blog112.fc2.com/>

感想を書けと言う。

今度はもつと衝撃を受けることになった。

さっきの新聞記事は誤報で、子供たちはまったく犯罪を起こしていないというのだ。

こんどのプリントに対する感想はみんなどう書いたんだろう。「新聞報道はもつと正確に」だろうか。「警察は捜査をしっかりとしろ！」だろうか。

私はなによりも「新聞が間違った報道をする」そして、「警察が間違った警察発表をする」ということにショックを受けた。

それまでマスメディアは正しいことを報道するものだと思っていた、というよりもそういうものだと思ってい込んでいた。そして警察は正しいと……

税法とはまったく関係ない話だったが、大学での最大の収穫がこの講義による固定観念の崩壊だった。

翻って現在の報道はどうだろう。

誇張や矮小・捏造が横行し、真実はあるときは覆い隠され、またあるときは作り上げられている。

本当のことは書けない、書かない、書きたくないの三つの報道がほとんどで、メジャーなマスメディアからのみ情報を得ていると、真実を知らずに生きていくこととなる。

そして残念ながら、かつての私のように新聞やテレビ、警察はおおむね正しいと思っている人々が大多数ではないかと思う。

これまでは、そんな真実は知らなくたって生きて生きていけた。

しかし、これからは、国民一人一人が真実を知り、国政を動かしていかなければ、日本の平和や繁栄は守れない。

現在は、そんな危機的な状況にあると思っ

ても、

この事実さえも矮小化されているのだが。

今はネット上にブログという媒体があり、多くの優良なブログが、報道されない真実を発信されているが、微力ながら私もその一翼を担いたい。そして皆さんにとつての『プリント』に、私のブログもなれば…と思っております。

・編集部より・

実は、マスコミの品格などと書いてありますが、まじょりーまじょりー太達は、マスコミの品格どころか、『マスコミがこれまで危険なものだったとは！』と、日々愕然としているのです。

本当はこの方の記事こそ、皆の意見なのです。

真実に気づき始めた人達のブログは、片っ端から「右翼」扱い。テレビはネットの叫びを無視し続け、ネットのマイナス面ばかりを強調し、世間に「ネット情報は嘘ばかり」と言う先入観を、せっせと植え付けています。そのくせ、自分達側の思いが実現されないと、『言論弾圧だ!!』『あつてはならない事!!』と大騒ぎです。あなたがテレビを見ていて「なんか変だな…?」「えーっそうかなあ?」と思った時、ネットで検索を掛けてみて下さい。テレビと全く違う情報が出てくるはずですよ。

